

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 眼窩骨折に対する腸骨移植術後の骨形成の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 高柳奈央 (形成外科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2024年5月27日～2024年12月31日

目的：腸骨移植術後の骨化について調査し、再建材料としての有用性を検討する。

方法：後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2018年4月～2023年3月に当院で眼窩骨折の手術を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、病歴に関する情報 (骨折の契機、合併症の有無)、CT画像所見等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

形成外科、高柳奈央

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971